

階段、棧橋を起因物（小）とする死亡災害事例（1999-2021年）

年	月	発 生 時	死亡災害事例	業種 （小） コード	事故 の型 コー ド	労働 者規 模
2021	2	10 ～ 12	資材を積んだトラックで改修工事現場に到着した被災者の携帯電話から3次下請の職長の携帯電話に着信履歴があり、職長より折り返し架電したがつながらず、その後、現場への経路として利用していた階段の1階部分の踊り場で頭部から血を流し倒れている被災者が病院の外来患者により発見され、その後死亡した。	30209	1	1～9
2021	4	12 ～ 14	清掃用のモップとバケツを持って階段を登っていた途中で転落し、踊り場の壁又は床に頭部を打ち付けたもの。	30203	1	10～ 29
2021	6	14 ～ 16	工場内の階段の踊り場に仰向けに倒れていたところを、物音を聞きつけた同僚が発見したもの。災害発生直後、被災者に意識はあったが、数日後救急搬送先の病院で死亡した。	11301	1	1～9
2021	7	10 ～ 12	職員用階段で、8階から下階に向かってモップを使用した壁面の埃取りとウエスを使用した手すりの拭き掃除を行っていた被災者が、2階踊り場で右側頭部を打って亡くなっていたもの。階段踏み面28cm、蹴上19cm、幅120cm、勾配35度。死因は脳挫傷とのこと。	150101	1	300 ～ 499
2021	8	14 ～ 16	営業のため同僚と2名で得意先を訪問し、2階事務所に通じる屋外階段を上っていたところ、階段を転落して頭部を強く打ち意識不明となり、救急車で搬送された。入院治療を継続していたが、後日脳挫傷により死亡した。災害発生時に同僚は少し遅れて階段に向かっていたため、直接災害発生状況は現認していない。	80209	1	10～ 29

2021	9	2 ～ 4	百貨店店内1階警備待機室内の中2階で仮眠を終えた同僚労働者が、中2階から1階に向かう階段下の1階床面で頭部から血を流して倒れている被災者を発見したもの。	150101	1	50～ 99
2021	9	10 ～ 12	被災者は、埠頭に係留中の船上で艀装作業を行っていた。休憩に入る際に被災者を確認できなかったため捜索したところ、海底に沈んだ状態で発見され、その後死亡が確認されたもの。発見時、被災者は救命胴衣を着用していなかった。	30107	10	30～ 49
2021	9	14 ～ 16	親会社が運営するラブホテルにおいて、客室の水道故障を修繕するため、被災者は同僚1名とともに現在使用されていない同ホテル別棟の給水設備から修理に使えるような部品を調達するために照明のない建物内を懐中電灯を手に物色していたが、2階から1階に向かう内部階段で転落し、左側頭部を強打して意識を喪失しているところを発見され、病院に搬送されたが、後日死亡したもの。	150101	1	30～ 49
2021	10	12 ～ 14	被災者は本件事業場の建屋内において、委託業者による清掃作業の立ち合いを行っていた。当該業者による清掃作業が終わり、業者が帰り被災者一人となった。その後被災者が家に帰らないと家族から会社に連絡があり、事業場担当者が事業場を訪れたところ、被災者が建物内部の玄関付近で倒れているところを発見したもの。	100101	1	50～ 99
2021	12	10 ～ 12	被災者は、ごみをごみ集積場所に置きに行くため、ごみ袋をもち、屋外階段を下りている途中、足を滑らせ、墜落したもの。現認者は確認されていない。	170209	1	1～9
2021	12	8 ～ 10	被災者は清掃準備のため、店舗の地下から1階へ上がり、周囲の照明を消して、通路へ向かおうとしたところ、誤って階段から転落したものの。	140201	1	1～9
2020	1	8 ～ 10	ビル屋上に設置された貯水槽点検のため、当該貯水槽に設置されたはしごを上がっていたところ、当該はしごが外れ、高さ3メートル70センチの高さから墜落した。	11603	1	300 ～
			幼稚園に納品のため、幼稚園上方にある道路に車を停めて商品を台車			

2020	1	10 ～ 12	に乗せ、幼稚園南側に隣接する階段を後ろ向きで下りている途中、階段の斜路部分より転落したものの。病院へ緊急搬送されたが脳出血により死亡した。	80209	1	1～9
2020	1	10 ～ 12	漁港に係船してある起重機船甲板上において、仮置きしていた鋼製の作業台（高さ5.89m）のはしご道を被災者が降りていたところ、足を掛けていたはしごの踏さんが折れ、高さ4.75mの位置から甲板上に墜落したものの。なお、被災者は安全帯未着用であった。	30111	1	30～ 49
2020	2	14 ～ 16	トラックによる荷の配送業務中の配送先納品場において、高さ1.2mのプラットホームの端に設置された昇降用階段の下で、後頭部を強く打って倒れていた被災者が発見された。病院に搬送され治療を受けていたが、後日死亡した。	40301	1	50～ 99
2020	4	14 ～ 16	管理人である被災者は、入居者に必要書類を届けるため、入居者宅を訪ね、玄関チャイムを鳴らして待っていた。入居者が外開きの玄関扉を開けた際に、それを避けようとした被災者が1階と2階の間の踊り場まで転落し、翌日脳挫傷により死亡したものの。	80409	1	30～ 49
2020	6	12 ～ 14	警備員がセンサー異常による警報があった市内の契約先にパトロールに赴いたところ、脚立を登り、鉄骨2階建の建物の2階に上るために設けられていたローリングタワーの架設通路（階段）を登った際又は、降りる際に足を踏み外したか、バランスを崩してコンクリート床の地上に墜落して手首と踵を骨折した。入院加療中に血栓が心臓近くの血管に詰まり死亡した。	170201	1	30～ 49
2020	12	14 ～ 16	直径3.5m、深さ2.5mのライナープレートの立坑に、移動式クレーンで横穴を開ける穿孔機（長手方向3.24m）を吊って、底部に降ろす作業を行っていた。立坑内には常設のタラップがらせん状に設置されており、穿孔機がタラップに接触しないように、被災者ともう1名が、穿孔機を回転させる相伴作業をしながら、タラップを降りている際に、被災者がタラップから約1.5m下に墜落した。	30106	1	1～9

2020	12	10 ～ 12	事業場の地下から地上へ続く階段を上っていたところ墜落し、階段のステップ付近に頭頂部を衝突させたもの。	80209	1	1～9
2019	1	12 ～ 14	営業所において、2階にある店舗から駐車場の車に点検表を持っていくために階段（幅約2m、踏面29.5cm、蹴上16.5cm、段数23段）を降りようとして上から1段目に左足、上から2段目に右足がある状態から左足を下の段へ下ろそうとした際、階段の滑り止めにつまづいてバランスを崩し、左肩を下にして床まで転落し、腰を強打した。被災者は、受傷後1週間ほどで肺炎を発症し死亡した。	80409	1	1～9
2019	2	14 ～ 16	発酵処理設備の高さ1mの階段付近で倒れている被災者が発見され、救急搬送された。発見時の状況などから、発酵処理設備の潤滑油を補給するため容量20リットルの未開封のペール缶を運搬中にバランスを崩して階段から転落し、頭部を強打したと推定される。階段に手すりはなく、被災者は保護帽未着用であった。	70101	1	10～ 29
2019	2	12 ～ 14	鉄骨階段の組立作業中に、鉄骨階段が倒壊し、当該階段上にいた被災者が地面に墜落して被災したもの。	30209	1	1～9
2019	2	16 ～ 18	業務終了後、1階から2階にある更衣室へ向かう途中、階段の踊り場から転落したもの。	80209	1	50～ 99
2019	3	6 ～ 8	排水処理室において、高さ約240センチメートルのステージ上において、吸着槽に取り付けられたpH計の清掃作業を終え、バケツを片手に持って階段を降りていたところ、地上からみて4、5段目（高さ約96～120センチメートル）より仰向けに地面へと転落し、頭蓋骨骨折、右頭蓋部硬膜下血腫の怪我を負った。被災から約10日後に死亡したもの。	11303	1	1～9
2019	3	10 ～	被災者が、ビルの清掃作業中、1階と2階の間の階段の踊り場に仰向けに倒れているところを発見された。（脳挫傷により、3日後に死亡	150101	1	50～

		12	した。)			99
2019	3	14 ～ 16	被災者は、日常業務である旅客宿泊部屋の点検・清掃業務に従事しており、雑巾等の清掃用具をかごに入れ、ホテル内を移動していた。被災時、発見者は物が倒れるような大きな音を聞いたため、音がした1階と2階の間を接続する階段へ向かったところ、階段の踊り場で頭部から出血した状態で倒れている被災者を現認した。被災者は、救急搬送されたものの、翌日、急性硬膜下血腫により死亡した。	140101	1	10～ 29
2019	3	18 ～ 20	事務所ビル本設外階段踊り場部で倒れている被災者を通行人が発見し、救急車で搬送されたが、翌日死亡したものの。	40201	1	30～ 49
2019	4	6 ～ 8	事業場事務所棟において、被災者が内部階段2階踊り場から1階までの清掃作業を行っていた際、足を踏み外したため、1階階段下まで転落、頭部を強打し、脳挫傷により後日死亡したものの。	40301	1	50～ 99
2019	5	0 ～ 2	朝、社屋2階の事務所に通じる外階段の最上部の踊り場の5.5メートル下の地面に倒れているのを発見された。警備記録と通勤車の状況から、前日の夜に帰社（解錠）し、1時間後に施錠して帰宅しかけたが何かの理由で戻った際、状況は不明だが当該踊り場の手すり（高さ1.1m、中さん3本）を越えて落ちたと推測。	30302	1	10～ 29
2019	5	10 ～ 12	被災者はマンションの管理人。マンションの敷地内で倒れているところを発見された。当該災害の目撃者はおらず、4階の踊り場に清掃道具が置かれていたこと及び被災者が駐輪場で倒れていたことから、被災者は4階から地上1階まで墜落したと思われる。	150101	1	100 ～ 299
2019	8	16 ～ 18	5階建て建屋新築工事において、被災者が、屋内階段から転落し頭を強く打ち、その後死亡が確認されたものの。	30201	1	10～ 29
2019	9	8 ～	被災者は、階段を降りていたところ、階段から墜落し、後頭部をコンクリートの床に強打した。被災者は、ただちに病院に救急搬送された	10602	1	10～ 29

		10	が、後日に死亡した。			
2019	10	8 ～ 10	工場の清掃作業で3階踊り場から2階の方へ下がりながら階段をモップ掛けしていたところ、2階踊り場から上へ1.8mの段（9段目）からバランスを崩し、2階踊り場まで転落し、頭部を強打し、死亡した。	150101	1	10～ 29
2019	12	14 ～ 16	港の棧橋の端部で、フェリー着岸準備をしていた被災者が海に墜落して死亡したもの。	170209	10	10～ 29
2018	1	8 ～ 9	建物の1階床で倒れているのを後から出勤してきたものが発見したものの。司法解剖の結果、外傷性くも膜下出血、後頭骨骨折が死亡原因であった。目撃者はいない。建物の2階部分に事務所があり、扉の開錠が行われていたので、被災者は出勤後、2階に上がったあと階段を転落したものと推定される。	80209	1	1～9
2018	2	14 ～ 15	被災者は集合住宅の清掃員であり、共有部分の清掃を担当していた。終業時刻を過ぎても事務所に戻ってこないことから同事業場所属の管理人が捜したところ、地下1階に降りる階段の途中で倒れている被災者を発見したもの。地下1階に降りる階段上を清掃道具置場として利用していた。	150101	1	100 ～ 299
2018	2	16 ～ 17	被災者は、作業現場の施工状況を確認するため、地上より約4メートル下にある地下作業場に梯子を使用して降りていたところ、墜落して死亡した。なお、梯子には、安全ブロックを取り付けていたが、使用していなかった。	30201	1	100 ～ 299
2018	5	10 ～ 11	被災者がビルの5階から4階にかけて階段をモップ掛けにより清掃していたところ、10段下（高さ約1.7m）の踊り場へ転落した。被災者は意識不明により、救急搬送されたが、後日死亡した。	150101	1	100 ～ 299
2018	5	14 ～ 15	屋内階段（3階と4階の間）を通行していたところ、転落し、踊り場に頭部を打ち付け、後日死亡したもの。	80209	1	300 ～ 499

2018	5	16 ～ 17	2階建ての飲食店で、地下の倉庫に行く階段から転落した音がしたため、確認したところ階段下に倒れているところを発見した。病院へ搬送したところ後日死亡した。	140201	1	1～9
2018	5	10 ～ 11	被災者が清掃作業場所であるマンションの外階段をハンドバキュームを持って2階から1階へ移動中に1階まで転落した。	150101	1	100 ～ 299
2018	5	14 ～ 15	被災者は出張先である被災地において、舞台装置の点検のためにはしご道を移動している所、およそ13メートル下の床面に墜落し、死亡したもの。	170209	1	10～ 29
2018	6	12 ～ 13	同僚が通路を歩いているとドサッという音がしたので振り返ってみると、階段下で倒れている被災者を見つけたので、病院へ救急搬送・治療するも、急性硬膜外血腫・頭部脳挫傷により死亡した。被災者は昼休みに会社内の食堂で昼食をとった後、職場へ戻るために階段を降りていて、誤って転落したものと思われる。	10702	1	100 ～ 299
2018	7	8 ～ 9	ホテル内の階段の掃除作業中、2階階段から1階まで墜落し死亡した。	140101	1	10～ 29
2018	7	14 ～ 15	介護施設内において、生活相談員を呼びに行くため、2階から1階まで階段を使用して降りていたところ、1階の階段の下から6段目付近（高さ約1.08メートル）の踏面からバランスを崩して墜落したものの。	130201	1	30～ 49
2018	7	12 ～ 13	事業場内において、昼休憩後、叫び声があったので確認したところ、1階と2階を繋ぐ屋内階段の地上部分で倒れている被災者を見、救急搬送されるも「外傷性くも膜下出血」により、搬送先で死亡したもの。なお、発生時の目撃者はいない。	11209	1	10～ 29
		10	4階建て商業ビル屋上に設置された広告看板改修のため、看板製造等を行う会社に所属する被災者は、看板下地の鉄骨製作他を行う会社の			

2018	7	～ 11	2名と共に、ビル屋上で採寸他の現場事前調査を行っていた。屋上で の作業を終えて、屋上へ上がる際にも使用したビル壁面に設置された 垂直タラップを降りていた被災者は、ビル横の河川へ墜落し、心臓破 裂により死亡した。	30209	1	1～9
2018	8	～ 15	階段下で被災者が下記状況で倒れているのが発見されたもの。・ヘル メットが外れ、飛んでいた。・汗をたくさんかいていた。・左頭部う しろに擦り傷があった。声をかけると自分で立ち上がり、制御盤の前 まで歩き座ったが、意識が朦朧としていた為、救急車で病院に搬送。 脳挫傷により死亡。	11209	1	1～9
2018	10	～ 11	被災者が、屋上から4階出入り口に設置されている外部階段を使用 し、屋上から荷物の運び出し作業を行っていたところ、当該階段の4 階出入り口踊り場から2段目及び3段目の踏板が抜け、地上まで約9 m墜落し、死亡したもの。	30201	1	50～ 99
2018	10	～ 7	6 店舗敷地内の2階階段部で倒れている被災者が発見された。その後、 救急車で病院に搬送されるも同日死亡したもの。	150101	1	300 ～ 499
2018	11	～ 11	10 清掃や給仕の補助作業を行っていた被災者が、建物内階段の踊り場に 倒れているところを発見されたもの。	140201	1	10～ 29
2018	12	～ 13	12 マンションの清掃業務終了後、共用棟内のロッカー室において、地下 へ通じる階段下に被災者が倒れているのを同僚が発見した。	150101	1	300 ～
2017	1	～ 5	4 2階更衣室で1階からの異音に気付いた同僚が、1階に通じる階段を 降りていたところ、同階段の最下段付近で仰向けに倒れている被災者 を発見した。	80109	1	50～ 99
2017	2	～ 7	6 ビルメンテナンス会社の清掃作業員がビルの内部階段でモップを用い ての清掃作業中に転倒し踊り場に転落、頭蓋骨骨折、脳挫傷を負っ た。	150101	1	1～9

2017	2	10 ～ 11	被災者が旋盤により加工する材料を取りに2階工場から1階に向かう途中の階段で、上から2段目から1階床まで（高さ3m44cm）転落し、病院に入院していたが後日死亡した。	11301	1	50～ 99
2017	4	16 ～ 17	被災者は、砂利プラント構内にある排水処理施設建屋内において、昇降階段上に俯せの状態で見つかり、同僚に発見された。発見時、受水タンクへ注水していた水が溢れ出し付近は水浸しになっていた。被災者は心肺停止の状態で見つかり、病院で死亡が確認された。	20209	1	1～9
2017	5	10 ～ 11	非常勤講師である被災者が午前10時50分に東部の教室にて講義を終え、同建屋2階の講師控室に向かう途中、4階から3階へ下る階段上から3階フロアへ転落または墜落しその衝撃で頭部を負傷、その10日後に脳挫傷により死亡した。	120109	1	30～ 49
2017	5	12 ～ 13	終業後、被災者は事業場内の階段踊り場に設置されているタイムレコーダーに打刻するため、階段を上っていたところ、階段から転落した。被災者は頭部を負傷し、1階の床で倒れていたところを見つかり病院に搬送されたが、死亡が確認された。	80209	1	1～9
2017	7	8 ～ 9	午前8:30頃、9時からの始業に備えて建屋7階事務所に出社した被災者が、荷物ロッカーのある5階に向かって外部階段を降りていたところ、高さ110センチメートルの手すりを乗り越えて、15.85メートル下の地上に墜落し、死亡した。	90109	1	10～ 29
2017	10	18 ～ 19	浄化センターでの巡回中、地下機械室から1階への階段途中で仰向けに転倒、重症頭部外傷により死亡した。発見された際の状況から、地下から1階へ階段を登っているとき転倒したものと考えられる。	11609	2	100 ～ 299
2017	10	4 ～ 5	被災者が配達先の下り階段下にある玄関前でうめき声をあげて倒れているのを同宅の住人に発見され、救急車により病院へ搬送されるも、同日搬送先で外傷性硬膜下血腫に伴う脳ヘルニアで死亡した。	80205	1	10～ 29
			被災者は、同僚3名と建築物（建物木造、基礎鉄骨）の解体工事を			

2017	11	10 ～ 11	行っていた。何等の理由で既設の地下1階部のコンクリート製の階段（高さ2m、幅1.4m、厚さ25cm、重量約1.5t）の裏に入っていたとき、コンクリート製の階段が折れるように上部が倒壊し、その下敷きになり死亡した。	30209	5	1～9
2017	11	2 ～ 3	夜間に、病院構内の警備業務をしていた被災者が、同病院内の警備室に戻らないため、同僚が捜索したところ、巡回経路上の病棟横における階段下に倒れていた被災者を発見した。	170201	1	30～ 49
2017	12	8 ～ 9	マンションの外階段（4階から5階への昇降部分）において、被災者がモップを使用して清掃作業中に4階まで墜落した。	150101	1	300 ～
2017	12	20 ～ 21	営業所駐車場の近くにある階段下において仰向けで倒れているところを出庫点呼待ちの乗務員に発見された。	40301	1	50～ 99
2017	12	12 ～ 13	被災者は、昼休み後に所定の仕事場へ向かう際に、工場内の階段を登り移動していたところ、側面（高さ約2メートル7センチ）から転落した。	11709	1	10～ 29
2017	12	8 ～ 9	被災者は朝、営業所に出勤し1階事務所に挨拶した後、2階にある乗務員控室に行くため、外階段を上っていたところ転落し、階段下に倒れているところを発見された。	40202	1	30～ 49
2017	12	22 ～ 23	被災者は、港に係留中の貨物船（チップ船）の船倉内で、チップの荷揚げのためドラグショベルに乗ってチップを集める作業を行っていたが、午後11時50分頃、同僚が船倉内に倒れている被災者を発見した。	50202	1	30～ 49
2017	12	10 ～ 11	被災者は集合住宅の清掃員であり、当日は同僚と二手に分かれ、柄の長いほうきを用いて共用階段及び玄関前スペースのすす払い（蜘蛛の巣除去）を行っていた。被災者が降りてこないことから、同僚労働者が様子を確認しに行ったところ、4階玄関前（5階階段下）に倒れている被災者を発見した。	150101	1	100 ～ 299

2016	1	8 ～ 9	被災者は、船で運ばれた鋼製コイルを陸揚げする作業において、船庫での玉掛け作業者であった。船庫で準備作業を行うべく船に乗りこんだ数分後、船庫で作業していた船員が大きな音を聞き後方を振り返ったところ、船庫底で仰向けに倒れている被災者を発見した。被災者は当初意識不明の状態であったが、死亡した。	50202	1	1～9
2016	1	21 ～ 22	警備業務委託元である会社において、被災者は、警備業務研修として教育係の労働者とともに巡回警備業務を行っていた。地下にある排水処理施設の巡回のため、階段を下りていたところ、上から4段目でバランスを崩して前のめりで頭より転落し、頭部を強打した。搬送先の病院で、死亡が確認された。	150101	1	300 ～ 499
2016	2	17 ～ 18	終業後、当番制で行っている帰宅前の社内戸締まり作業中、8階から7階に室内階段で降りる際、誤って足を踏み外し転落、頭部を強打した。	90103	1	50～ 99
2016	2	5 ～ 6	被災者はビルの守衛業務を朝9時から24時間行う予定であった。午前零時頃に仮眠をとり、朝5時頃に目覚めた被災者は、地下にある休憩室から1階のトイレに行き、その後、休憩室に戻る途中で階段を踏み外して踊り場に転落し、壁に頭を打ち付けた（推定）。6時半に出社してきた同僚が踊り場に倒れている被災者を発見し、救急車で病院に搬送したが5時間後に死亡した。	170201	1	100 ～ 299
2016	3	17 ～ 18	見回りに出かけた職員が帰ってこないのを他の職員が探しに行ったところ、階段の下で被災者が仰向けに倒れているのを発見した。被災者は頭部から大量に出血しており、救急車で病院に搬送されたが、同日、脳挫傷により死亡。	140309	1	1～9
2016	5	17 ～ 18	勤務先となっているホテルの内階段で、3階の扉を開けて中に入ろうとし扉の取っ手を引いたら緩んでいた取っ手が外れ、その反動で階段から転落。3階と2階の間にある踊り場に頭部を強打した。	150101	1	30～ 49
		9	被災当日より開始した浄水場中の濃縮槽底面に設置するポンプの基礎			

2016	9	～ 10	工事作業中、作業に必要な電動ドリルを抱えて架設通路（高さ約5.3 mのローリングタワー最上段に長さ3.1 mの移動はしごを設置したものを降りていたところ、移動足場最上段より墜落した。	30203	1	30～ 49
2016	9	～ 17	被災者は、個人住宅へ夕刊を配達中に、雨で濡れた同住宅の階段上で足を滑らせ仰向けの状態で転落した際に、頭部を強打し、気を失っていた所を外出から帰宅した同住宅の住人に、発見された。医療機関に搬送され、外傷性クモ膜下出血の診断を受け、治療を受けていたものの、災害発生より13日後に死亡した。	80205	1	30～ 49
2016	10	～ 13	昼休み休憩中に、当該事業場施設内の4階から自席のある3階へ階段を使用して移動中、4、5段目付近から、3階床まで墜落し、頭部を負傷。外傷性脳内血腫により、発生から11日後に死亡した。	170209	1	100 ～ 299
2016	11	～ 13	災害発生事業場の2階事務所から1階へ向かう屋内階段（14段、高さ3 m、幅1.03 m）から転落し、頭部打撲により死亡した。	170209	1	30～ 49
2015	9	～ 11	被災者は、平成27年9月19日午前10時20分、事業場の労働者により階段踊場で倒れているところを発見され、病院へ搬送され、同日午後3時42分、脳挫傷により死亡した。災害発生時の目撃者はおらず、災害発生時の状況及び発生時刻は不明。	170209	1	50～ 99
2015	8	～ 8	2階倉庫より、ダンボール箱（商品梱包用化粧箱240個入、重さ7.4 kg）を1階に下ろすため、箱を抱えて階段を降りていたところ、足を踏み外して転落し、1階コンクリート土間に頭部をぶつけたもの。救急搬送され入院加療していたが、8月19日午後8時に死亡した。	10104	1	10～ 29
2015	8	～ 24	平成27年8月28日からの、船舶エンジン整備作業のため、他の労働者とともに仕事先事業所の宿泊施設2階に宿泊中、就寝後、トイレに行く途中で階段から転落し頭を強打した。物音に気づいた同僚が発見し、救急車にて病院搬送され、緊急手術が行われたものの、8月30日、脳挫傷により死亡した。	11501	1	1～9

2015	11	15 ～ 16	ビル管理人として勤務する被災者は、巡回点検のためエレベーターで6階に行き、外階段で屋上の電気点検を終えた後、外階段の各階点検途中、屋上から6階の間で階段を踏み外し転倒し、後頭部を壁に強打した。病院に搬送され、治療等が行われたが、8日後死亡したもの。	150101	1	300 ～
2015	2	7 ～ 8	護岸改修工事において、クレーンオペレーターが、護岸から約10m離れた位置に係留していたクレーン船に移動しようとしてクレーン船と岸壁間の間にあった浮棧橋の上に移動したところ、何らかの原因で浮棧橋の上から川に転落したと推測される。	30107	10	1～9
2015	7	17 ～ 18	おしぼりの洗濯作業を行った被災者の所在が分からなくなってしまう、同僚が探していたところ、半地下にある厨房横のドアから地上の洗濯場に続く階段で頭を下、足を上の仰向けの状態で倒れていた被災者を発見した。被災時は呼吸していたが意識はなく、病院で手当てを受けたが、翌日死亡した。	140101	1	10～ 29
2014	5	16 ～ 17	事務所のある雑居ビルの階段下にて、倒れているところを発見され、頭蓋骨陥没、脳挫傷にて死亡した。	30201	1	50～ 99
2014	6	22 ～ 23	警備中、不審者を発見し、確認しようと地下から地上に通じる階段を昇ったとこと、転がり落ち、死亡した。	150101	1	300 ～ 499
2014	6	19 ～ 20	事業場施設の内階段を降りた際、階段の中段付近で足を踏み外し、頭部、腹部を強打し、肺出血、前頭部挫傷、外傷性くも膜下出血により死亡した。	80209	1	50～ 99
2014	7	11 ～ 12	集合住宅空き室の清掃作業中、マンションの階段で転倒し、頭部を打撲。急性硬膜下血腫により死亡した。	150101	1	1～9
2014	7	9 ～	冷凍運搬車で食材を配送中、食材を抱え、階段を降りていたところ、つまづき、頭部から踊り場へ転落した。	40301	1	10～ 29

		10				
2014	8	9 ～ 10	<p>枠組み足場組立て中、被災者がハッチ式布板に付属しているタラップで降りていたところ、背中から足場外部に約5 mほどの高さから墜落。足場付近の鉄製フェンスにわき腹をぶつけ、大動脈破裂により死亡した。</p>	30209	1	10～ 29
2014	9	11 ～ 12	<p>階段の清掃作業中、地下から階段をのぼった際、階段の下から2段目に足をのせたところ、バランスを崩し、真後ろに転倒。頭部を強打し、死亡した。</p>	150101	1	10～ 29
2014	10	7 ～ 8	<p>事業所内の製造プラントにて、反応炉に亜硫酸ナトリウムを投入後、空容器を抱え、階段を降りていたところ、転落。床に頭部を強打し、意識不明の状態で見倒れている被災者が発見された。</p>	10899	1	100 ～ 299
2014	10	15 ～ 16	<p>倉庫3階の増築工事中にて、階段を降りていたところ、踊り場から地上まで墜落し、死亡した。</p>	30201	1	1～9
2014	11	12 ～ 13	<p>事業場の階段踊り場にて、倒れている被災者が同僚に発見され、外傷性くも膜下出血により死亡した。</p>	80109	1	10～ 29
2013	11	8 ～ 9	<p>被災者と同僚は、二人で濁水プラントの解体作業を行っていた。当該プラント付属の昇降設備を取り外す際、被災者は昇降設備の最上部（高さ約4.5 m）、同僚は中程（高さ約2.0 m）でともに昇降設備に玉掛けを行おうとしていた際、被災者と同僚は昇降設備とともに転落した。</p>	30102	1	1～9
2013	1	22 ～ 23	<p>警備員が構内の見回り中、T館西側階段6階の踊り場で倒れている被災者を発見した。死因は、急性硬膜下血腫他外傷性のもの。尚、現認者がいないが、なんらかの理由で階段から転落したと推測される。</p>	120109	1	100 ～ 299
		14	<p>災害発生場所の地下階段踊り場で、倒れている被災者が発見された。尚、目撃者がいないため推測であるが、被災者は地下1階から地下2</p>			100

2013	4	～	15	階へ下りる階段を、肩に掃除機を掛けて上から下に向かって掃除をしていたが、階段から足を踏み外して転落、頭を強く打ったものと思われる。	150101	1	～	299
2013	3	～	13 14	客室清掃作業中、階下の玄関口へスリッパを揃えようと階段を降りていたところ、何らかの理由によって転がり落ち、頭部強打により死亡した。	140101	1	1～9	
2013	10	～	17 18	事務所・印刷工場の二階建て建物内の西側屋内階段の踊り場において、踊り場より3段上の階段に足先を残し、あお向けに倒れている被災者が、階段を通りがかった同僚労働者に発見され、救急搬送されたが死亡した。	10701	2	30～	49
2013	6	～	16 17	被災者は、工場内で資材置場として使用している中二階に断熱材を片付けるため、フォークリフトの限度高さ約3mまで断熱材を持ち上げ、中二階への昇降用架設通路を途中まで上り、高さ約2.6mの箇所からフォークに乗っている断熱材を手にとった後、1階床面まで墜落した。	10409	1	1～9	
2013	10	～	11 12	アパート階段屋根の塩ビパネル1枚の取り替え工事中、事業主と被災者の2名で塩ビパネルを取り替えた後、被災者は2階の踊り場で、笠木に上がって作業していた事業主に木ねじやサイドモールを手渡すなどの雑作業を行っていた際、踊り場の端部から後向きの姿勢で階段をすべり落ち、道路に頭部を強打した。	30202	1	1～9	
2013	10	～	17 18	訪問介護先の個人住宅で介護業務中、洗濯機と物干し場がある4階へ向かう階段下の3階フロア上に仰向けで倒れていたところを家人に見された。	130201	1	30～	49
2013	12	～	14 15	被災者は、軽量鉄骨造2階建新築工事において、室内階段の養生をしていたベニヤ板のテープを剥ぐ作業中、何らかの要因で転倒し、首および肩を強打し、意識不明となり病院に搬送されたが、死亡した。	30201	2	1～9	
2013	1	～	13	新築工事の現場内において、建築物内の1階と2階を結ぶ階段の途中で倒れている被災者を現場作業員が発見した。発見当時被災者に意識	170201	1	100	～

		14	はあったものの、収容先の病院で様態が急変し、死亡した。			299
2013	11	12 ～ 13	添乗員（被災者）は、ツアー客の昼食のために立ち寄ったレストランにおいて、ツアー客を席へ案内していて、階段の2階から1階へ転落した。その際、1階にある柱に頭部を強打し、病院に搬送されたが死亡した。	90201	1	50～ 99
2013	10	17 ～ 18	帰宅するため、勤務先の階段21段を下りる際に転落し、搬送先の病院で出血性ショックにより死亡した。	120109	1	10～ 29
2012	10	10 ～ 11	液化ガス共同備蓄の船に係留し、液化ガスを出荷するための設備である「ローディングアーム」の足場の解体作業中、足場昇降用のはしごを足場の支柱に沿って設置していた際、最上階で作業していた被災者は、当該はしごを使用して降りようとしたところ、はしごがブランコのように揺れ、約8m下に墜落した。	30309	1	10～ 29
2012	10	14 ～ 15	被災者は建造船バラストタンク内の架設照明器具撤去作業中、最上階の梯子（角度75度）を昇る際に転落し、下部プラットフォームを乗り越え、同プラットフォームから約6m下へ墜落、死亡した。	11501	1	30～ 49
2012	11	3 ～ 4	LPGタンク内部の手直し作業が終了し、外に出るため内部階段を上がっていたところ、資材搬入等のために一部床（グレーチング）を取り外した状態の踊り場の開口部から、約10m下のタンク底部に墜落した。	11209	1	100 ～ 299
2012	10	8 ～ 9	被災者は3階事務室から屋内階段を通り4階倉庫へ資材を取りに行った。3階にいた同僚が屋内階段から大きな音がしたため階段へ行くと、3階と4階の踊り場で倒れている被災者と資材を発見した。	80209	1	50～ 99
2012	1	12 ～ 13	被災者は6階建て鉄骨建屋解体工事において、6階から屋上部分に通じる外部階段を切断する作業中、先行して撤去されていた手すり部分から墜落した。なお、安全帯は装着していたが、使用されていなかった。	30209	1	10～ 29
			朝礼の点呼のため、被災者を除く作業員はスタッフルームに集合して			

2012	3	5 ～ 6	いたが、被災者の姿が見えなかったため様子を見に行こうとスタッフ ルームのドアを開けて外に出たところ、階段下に倒れている被災者が 発見された。救急搬送されたが、外傷性くも膜下出血のため意識不明 の状態が続き、数日後に死亡した。なお、発見される5分程前に、屋外 で何かがぶつかる大きな音が聞こえていた。	40301	1	100 ～ 299
2012	3	13 ～ 14	被災者は院内の1階にある手術室に患者を送り届けた後、階段を使用し 2階にある病院室に戻る途中に踊り場付近から転落し後頭部を強打し た。発見時、被災者は1階で耳から流血し仰向けに倒れており、スリッ パが踊り場に片方その数段下にもう片方が残っていた。	130101	1	30～ 49
2012	1	11 ～ 12	品物を届けた帰りに、階段で足が引っ掛かり4段ほど落下した。その 際、足を折った状態で角にぶつけ、右膝下を負傷した。その後、その 傷が原因で肺動脈血栓症を発症し死亡した。	120109	1	10～ 29
2012	8	10 ～ 11	被災者は階段のモップがけを行うため1階から2階に上がる時、3人が かりで便器を下していた工事業者とすれちがう際に階段から転落し た。	140201	1	30～ 49
2012	8	8 ～ 9	被災者は交通誘導警備業務中、階段そばの歩道で意識不明の状態に倒 れているところを発見され、搬送先の病院で死亡した。	170201	1	100 ～ 299
2012	6	3 ～ 4	被災者は高さ約3mの階段を下りる際、足を踏み外し転倒し頸椎を損傷 した。	80205	2	10～ 29
2012	10	10 ～ 11	休憩時間中、作業場へ向かう階段から墜落した。	11403	1	100 ～ 299
2011	1	10 ～ 11	勤務終了後、1階事務室から2階にあるロッカーへ移動するため、階 段を上っていたところ、3段目あたりから後方へ転倒し負傷した。	110101	1	50～ 99

2011	1	15 ～ 16	被災者は、スタジオの設備点検するために2階副調整室からスタジオに通ずる階段を降りようとした際、階段に取り付けられていた手すりを乗り越えて、高さ約4mのところからスタジオ内の床面に墜落した。	110101	1	1～9
2011	2	5 ～ 6	1階倉庫での製品出荷準備を終えた被災労働者が、倉庫内の階段で2階へ上がろうとした際に、何らかの理由で階段から転落した。救命救急センターへ搬送されたが、死亡した。	11709	1	10～ 29
2011	4	13 ～ 14	美術館に付属するレストランの厨房に商品を納入に来た被災者が、外部通路階段下で、倒れているところを発見されたもの。	80201	1	1～9
2011	7	11 ～ 12	住宅リフォーム工事において屋根の破風板を取り替える作業中、ブラケット一側足場の3層目から地上に通ずる昇降階段を降りていたところ、昇降階段の手すりの下から（中さんなし）、約5メートル下の地上に墜落し、死亡した。被災者は、墜落防止用ヘルメットを着用していたが墜落の際に脱げ、地上にあったコンクリートブロックに頭部を打ち付けたもの。	30202	1	1～9
2011	5	8 ～ 9	被災者が、当日の作業（屋外での配送用コンテナの片付け）が終了し、着替え等を行うため建物内に戻ろうと5段の階段を上っていたところ転倒し、仰向けのまま地面に後頭部を打ち付け、脳挫傷により死亡したもの。	40302	1	10～ 29
2011	5	9 ～ 10	葬儀場内部のクロス張替え等修繕工事において、電気工事を請け負った一次下請の労働者（一人親方特別加入者だが専属制、日給制、指揮命令状況からみて労働者の可能性が高い）が、作業開始直後に気分が悪くなり階段に倒れて脂汗をかいていたため、車中で休憩をするために作業仲間に付き添われて建物内部の階段を2階から1階へ降りていた際に、体がふらついて1階の床まで8段転落して頭蓋内損傷により死亡したもの。	30209	1	10～ 29
			被災者は、ビル6階店舗に販売したエアコンの点検・修理等を手配			

2011	7	12 ～ 13	し、関係工事の完了を確認するため車中で待機していた。そして、工事完了の報告を受けて同店舗に行くためエレベーターホールに向かう際、通路脇の地下階段を踏み外して約4メートル下に転落し被災したものの。	80209	1	1～9
2011	7	9 ～ 10	木造3階建ての新築工事現場で上部の外壁（3階屋根と2階屋根の間の外壁）に防水シートを貼るために、2階ベランダに置いていた防水シートを持って外部足場（一側足場・床幅24cm）を通り、そして足場に設けた昇降梯子に移動する際、または昇っている時に墜落したものと思われる。被災者は搬送先の病院で8月10日に死亡した。昇降梯子は足場の外側に設置していた。	30202	1	1～9
2011	2	16 ～ 17	被災者は勤務が終了し、帰宅しようと事務所建屋2階から建屋付属の外部階段（最上段高さ2.3メートル、階段斜面延長3.4メートル、傾斜42度、11段、階段は乾燥状態）を使用し階段を降りていたところ、途中から階段内で転落し、地上コンクリート面に倒れているところを発見されたもの。被災者は、被災後病院に搬送され入院加療を行っていたが、4月13日に死亡したもの。	40201	1	50～ 99
2010	12	7 ～ 8	清掃箇所へ向かう途中の階段で転落し、踊場にて仰向けに倒れている被災者が発見されたもの。	150101	1	1～9
2010	12	6 ～ 7	スーパーの1階バックヤード階段下で倒れているところを発見された。	80209	1	30～ 49
2010	11	10 ～ 11	会社指示により、顧客の事務所・倉庫の引越しを手伝っていた際、階段より転落し左足を骨折した。当日は夕方まで作業を実施。翌日、出勤後、痛みがあり通院・療養を開始し、休業（有休、健保処理）した。約1カ月後、突然、肺の痛みを訴え、救急で搬送されたが、血管が詰まって死亡した。	80109	1	1～9
			修繕ドック内において、ドックゲートの解体作業中、解体中のドック			

2010	11	9 ～ 10	ゲート上部と修繕ドック上部との間に掛け渡していたタラップ（長さ約4m）が、固定していたロープを被災者が外したために滑り落ち、タラップ上にいた被災者が、タラップとともに約5m墜落した。	11501	1	10～ 29
2010	10	8 ～ 9	ボイラー室に清掃用具を片付けに行った被災者が戻らないので、同僚が様子を見に行ったところ、階段下に倒れている被災者を発見した。階段上には被災者が履いていたスリッパが片方残されていた。被災者は頭部を強く打っており、階段から墜落したものと推定される。	140101	1	10～ 29
2010	10	9 ～ 10	ファイナルドックと呼称される作業で、入渠中の新造船の船倉に取り付けられた総高さ13.6mのバーチカルラダー（垂直はしご）の何れかの付近から墜落したもの（推定）。	11501	1	100 ～ 299
2010	8	13 ～ 14	休憩を終え5階の従業員食堂から3階の担当売場に戻ろうとした労働者が、階段部分でバランスを崩して転倒し、4、5階間の踊場で頭部から血を流し倒れているところを発見されたもの。病院に運ばれ治療を受けたが、9日後に頭部負傷により死亡したもの。階段は、踊場まで12段あり、踏面21cm、蹴上18cm、幅185cmであった。	80201	1	100 ～ 299
2010	8	9 ～ 10	地下3階の貸金庫の鍵が開かない旨、被災者は上司に報告し、この上司を先導し1階から地下3階へ階段を利用し降りた。先に立ち廊下を貸金庫のある室に向かっていたが、途中、地下4階に至る階段の方に急に左折し（理由不明）、階段の最上部で倒れ、踊り場まで12段、高さ約2.4m墜落したもの。頭部を打ち、搬送先の病院で死亡した。	90101	1	1001 ～ 9999
2010	7	9 ～ 10	被災者は、3階建のビルの階段の清掃を単独で行っていた。3階踊り場で、倒れているところを取引先の労働者に発見され、救急車で病院に搬送されたが、当日深夜、頭部の負傷により死亡したもの。状況から、3階から下の踊り場までの掃き掃除を終了後、手すりを雑巾で拭いている際に、階段を転落したとみられる。	150101	1	30～ 49

2010	7	11 ～ 12	清掃作業員が7階から6階へ通じる階段から転落し、踊場で頭から血を流して倒れているのが発見され、病院に搬送されたが、死亡が確認された。	150101	1	1～9
2010	6	9 ～ 10	新造タンカーのブロック継手をカーゴオイルタンク内から溶接するため、デッキ上のマンホールから本設の昇降タラップを使用して下降中に、高さ約25mの地点から船底に墜落した。	11501	1	1001 ～ 9999
2010	6	9 ～ 10	建物内の地下2階にあるゴミ置場にゴミを捨て、地下1階のフロアに戻るため、地下2階から地下1階へ上がる屋内階段（幅138cm、蹴上げ19cm、勾配38度）を昇っていた時、よく見ておらず階段の踏面（28cm）を踏外して踊場へ仰向けの状態で転落した。その後、病院に搬送され、治療を施されたが、2日後に頭部の負傷等により死亡したものの。	150101	1	300 ～
2010	6	13 ～ 14	レンタルコンテナ置場において、レンタルコンテナ2段目への家財道具の搬入を行うため、同敷地内にあった移動式階段を利用して搬入作業を行うにあたり、被災者と他の労働者1名で食器棚を挟んで向かい合わせになり、後ろ向きで階段を昇り運び上げた際、移動式階段最上段踊り場（高さ約2.5m）の端より足を踏み外し、被災者が地上に墜落したものの。	170209	1	1～9
2010	3	5 ～ 6	団地において、朝刊の配達を行っていた被災者が、1階と2階の間の踊り場で意識不明の状態で見倒れているのを住民が発見し、医療機関に搬送されたが、その後も意識不明の状態が続き、13日後に頭部の損傷により死亡したものの。	80205	1	50～ 99
2010	2	9 ～ 10	左手にファイルを持って2階から1階へ階段を降りていたところ、下から10段目付近から足を踏み外し1階床まで転落した。意識がなく、いびきをかいていたので救急車で病院に搬送したが、2日後に死亡した。階段の片側（降りる時は左側）に手すりが設けられていた。	80202	1	10～ 29
			被災者は昼休み後、管理・開放病棟から病棟へ入院患者の回診に向かっていたが、病院の建替工事のため、病棟内部の通路及び階段が			

2010	1	13 ～ 14	使用できなかった。そのため管理・開放病棟から病棟への移動は、屋外階段を昇る必要があった（当時の正規ルート）。屋外階段付近から音が聞こえたので、付近にいた入院患者が階段に駆け付けたところ、階段下で仰向けに倒れている被災者が発見され、病院に搬送され翌日死亡したもの。階段を昇る際につまずく等により、身体のバランスを崩し、階段から転落し、頭部を強打したとみられる。	130101	1	100 ～ 299
2010	1	4 ～ 5	被災者は新聞配達中、2階建アパート屋外階段付近の1階コンクリート床面に意識のない状態で仰向けに倒れているところを付近住民に発見された。入院加療中のところ、頭部負傷のため4日後に死亡した。発見時の状況と負傷状態から階段を昇降中に誤って転落したとみられる。	80205	1	50～ 99
2009	1	9 ～ 10	被災者は、岸壁から海面にある建造中の船へ乗り込むために設置された渡り栈橋（高さ10m、長さ30m、勾配18度、自重6t）を通行していたところ、栈橋上部の船体に掛けていたフック箇所と栈橋を固定していた4本のボルトが切断したため、栈橋とともに墜落した。なお、本災害において、死亡者3人以外に23人が被災した。	11501	1	50～ 99
2009	1	9 ～ 10	被災者は、岸壁から海面にある建造中の船へ乗り込むために設置された渡り栈橋（高さ10m、長さ30m、勾配18度、自重6t）を通行していたところ、栈橋上部の船体に掛けていたフック箇所と栈橋を固定していた4本のボルトが切断したため、栈橋とともに墜落した。なお、本災害において、死亡者3人以外に23人が被災した。	11501	1	10～ 29
2009	1	9 ～ 10	被災者は、岸壁から海面にある建造中の船へ乗り込むために設置された渡り栈橋（高さ10m、長さ30m、勾配18度、自重6t）を通行していたところ、栈橋上部の船体に掛けていたフック箇所と栈橋を固定していた4本のボルトが切断したため、栈橋とともに墜落した。なお、本災害において、死亡者3人以外に23人が被災した。	11501	1	1～9
2009	1	13 ～	被災者等3人は事業場の階段の清掃作業を行っていた。被災者は不要となった脚立を片付けるため、脚立を担ぎ階段を降りていたところ、	150101	1	50～

		14	階段でつまずき転倒した。			99
2009	8	21 ～ 22	夜勤にて使用電力量を監視していた被災者が、勤務している建物の非常階段側の地面において倒れている姿を発見された。非常階段は踊り場を含め高さ95cm以上のコンクリート製擁壁で囲われている。着衣は勤務当時のもの、靴は履いたままであった。階段の照明装置は機能していた。被災者には2階と4階を移動する用務があったが、通常はエレベータを利用している。	140101	1	100 ～ 299
2009	12	9 ～ 10	9階建てマンションの貯水槽清掃作業を行うため、屋上踊り場から塔屋の貯水槽設置箇所に登るため、既設の「はしご道」に手をかけて登り始めた直後、踊り場手すりを超えて約30m下の地上に墜落した。	150101	1	10～ 29
2009	11	15 ～ 16	施設管理を行っている区民ホール内の地階駐車場から1階事務室に通じる階段で足を踏み外し、地階に転落して地階扉の金属製ノブに身体を強打し負傷した。後日、入院先で死亡した。	150101	1	10～ 29
2009	2	13 ～ 14	木造2階建て個人住宅の間仕切り変更などの内装工事において、被災者が壁化粧板（石膏ボード：90cm×180cm、1枚約10kg）2枚を持って、住宅内部の階段（高低差2.8m、勾配52度、踏み面22cm、蹴上げ23.5cm）を昇っている途中、階段半ばあたりから転落、1階踊り場の対面する壁に身体を激突した。	30209	1	1～9
2009	7	20 ～ 21	業務終了後、退社しようと4階更衣室から屋内の従業員専用通路階段を降りる途中、足を踏み外して3階まで転落して身体を強打し死亡した。	80201	1	100 ～ 299
2009	10	14 ～ 15	被災者は、建造ドックの扉船（ドックと海を仕切る部分）内部の塗装を行うため、扉船の上部からはしごを伝って扉船に設けた足場に移ろうとした際、誤って10.75m下に墜落した。	30209	1	50～ 99
2009	6	13 ～ 14	午前中の配送業務を終え、午後の配達物を受け取るため取引先へ立ち寄った際、同事務所の階段で転落した。	40301	1	1～9

2009	5	15 ～ 16	被災者は当該作業員2人とトイレトペーパー入り段ボール箱を中2階に直前まで運搬する作業を行っており、中2階から1階へ固定はしごを利用して降りる際に墜落した。なお、中2階の床面から1階床面までの高さは約3.6m。	10601	1	30～ 49
2009	10	11 ～ 12	被災者は一人で岸壁に乗り付けた小型のタンクローリーから、浮き桟橋に係留されたプレジャーボートへの給油を終え、浮き桟橋から岸壁に戻る際に何らかの原因で海中に転落した。岸壁と浮き桟橋は約2m離れ、岸壁の高さは約1.8m、水深約3m。	80204	10	10～ 29
2009	10	15 ～ 16	宅配便発送のため、発送伝票を手を持って2階事務所から階段を上から2段下りたところで1階床まで約3m墜落した。階段の形状は踏み面24cm、蹴上げ21cm、段数が17段、幅93cm、踊り場なし、階段の両側は壁であるため、手すりなし、直線階段、アルミ製の滑り止めがついており、階段の材質はPタイルであった。1階と2階の高低差3m52cmであった。	80109	1	30～ 49
2009	8	10 ～ 11	建物の屋内階段方向で、物音がしたので見に行くと、2階と3階の間の踊り場で被災者が仰向け状態に倒れていた。発見後、病院へ搬送されたが死亡した。被災者は、普段から当該建物の清掃作業に従事しており、被災者の傍らには掃除機があった。	80409	1	1～9
2009	3	10 ～ 11	14階建てマンションの外壁補修工事において、屋上の手すり壁外側にある庇に可搬式ゴンドラを取り付けるため、手すり壁をまたぐ渡り通路を設置した。被災者が、庇上の渡り通路に移動したところ、渡り通路に控え等がなかったため、渡り通路とともに地上に墜落した。	30209	1	10～ 29
2009	1	18 ～ 19	ホテル内の階段踊り場に、仰向けで倒れている状態で発見された。搬送先で意識不明であったが、18日後に死亡が確認された。	140101	1	50～ 99
2009	3	9 ～ 10	ビルの屋外階段に足場をかけるための見積りを作成するために、被災者1人で寸法を測る作業中、階段の最上階の踊り場から墜落した。	30309	1	1～9

2008	10	8 ～ 9	同僚が当該店舗に出勤したところ、清掃作業を行うため、既に出勤していた被災者が階段の踊り場で倒れているところを発見した。	140201	2	10～ 29
2008	12	7 ～ 8	勤務先であるホテルの階段下に倒れているところを同僚作業員から発見された。直ちに療養機関に搬送し療養中に死亡した。	140101	2	10～ 29
2008	6	1 ～ 2	被災者が車を降りて乗客を呼びに行く途中、乗客宅の敷地内にある高さ4mの下り階段の上方から転落した。	40201	1	100 ～ 299
2008	12	5 ～ 6	被災者は朝刊を配達中にマンションの階段を下りる際、転落して死亡した。	80205	1	10～ 29
2008	8	17 ～ 18	被災者が一人で休日出勤していた時、夜中の12:00頃に警備会社の警備員が事務所内の階段で倒れている被災者を見つけた。被災者は移動中に事業所内の1階から2階に昇る階段から転落した。階段にはすべり止めはあったが手すりはない。	80209	1	1～9
2008	2	9 ～ 10	階段の清掃作業中に階段7段目（高さ126cm）から踊り場に転落して死亡した。	150101	1	1～9
2008	2	12 ～ 13	午前の作業を終えて社屋2階の休憩室で昼休みをとった後、1階加工場へ戻るために階段を下りていた時、階段から転落した。	10102	1	30～ 49
2008	7	9 ～ 10	被災者は、営業のため訪問先の階段を下りていたとき、足を踏み外して転倒して死亡した。	10701	1	10～ 29
2008	3	18 ～	業務委託先の事業場内の階段の踊り場で、頭を押さえずくまっていた被災者を事業場の保安係が目撃した。その後、更衣室でしゃがみ込	170209	1	30～ 49

		19	んでいる被災者を病院に連れて行ったが、入院後、死亡した。			
2008	3	10 ～ 11	エレベーターのない5階建住宅へ約10kgの商品を届けに階段を上っていたところ、2階から2、3段上がったところでバランスを崩して踊り場へ転落した。	50101	1	1～9
2008	6	3 ～ 4	ビル3階及び2階に新聞を配達後、階段下1階に倒れているのがに発見された。被災者はゴム長靴を履き、バイク運転用のヘルメットを着用していた。	80205	1	30～ 49
2008	8	10 ～ 11	マンション改修工事において、マンション内3階トイレに向かう途中で階段を踏み外し転落して死亡した。	30203	1	1～9
2008	7	8 ～ 9	出勤途中の被災者が玄関階段付近を通過した際に転倒して死亡した。	170209	2	30～ 49
2008	6	9 ～ 10	貸家屋根塗装工事の2階屋根の塗装作業で2階屋根に上がるため、1階の屋根に立てかけてあったはしごを登っていたところ、バランスを崩して当該はしごから1階屋根へ転落し、止まることなく地面に墜落して死亡した。	30202	1	1～9
2007	4	12 ～ 13	被災者は、業務を終えて帰宅するため、2階にある店を出て階段を下りているときに、踊り場で転倒した。病院に搬送されたが、死亡した。	140209	1	1～9
2007	10	13 ～ 14	被災者が修繕船のタンク内にて昇降タラップのステップ部分の交換作業を行っていたところ、被災者が使用していた安全帯のフックを付けていた金具が外れて約11m下のデッキに墜落した。	11501	1	10～ 29
2007	6	9 ～ 10	地上2階建て木造家屋新築工事現場において、屋内階段の内壁下地の取り付け作業を行っていた被災者が、階段の最上段（15段）付近から1段目まで、階段を約4m転落した。	30202	1	1～9
		16	組立工場建屋内北側の天井クレーン昇降用階段踊り場（地上から2			100

2007	6	～ 17	0. 3 m) に倒れている被災者をクレーン運転手が発見した。	11501	1	～ 299
2007	5	8 ～ 9	輪転機の作業ステージ（高さ1. 9 7 m）での印刷用版取替え作業終了後、昇降ステップを降りていたところ、床面に墜落した。	10701	1	30～ 49
2007	4	16 ～ 17	被災者は出勤後、仕事着（白衣）に着替えるために店舗の裏側（東口側）にある通用口から2階にある更衣室に行くために階段を上り、2階の踊り場の1段下で上履きに履き替えようとして靴を脱ぎ、自分の脱いだ靴を整えようとして、約3. 2 m下の1階の土間へ転落した。	140201	1	1～9
2007	11	10 ～ 11	廃水処理配管の取替え作業を、被災者と下請け作業者の2名で行っていた。配管を車両積載形トラッククレーンにてつり上げたが、当該配管に巻きつけた介錯ロープが短いため、当該ロープを掴むため、被災者が足場へ行こうとしたところ、途中の架設通路の昇降設備（高さ1. 1 2 5 m、踏み段3段、手すりなし、踏み面7. 5 c m）で足を滑らせ、深さ2. 9 mの原水槽に墜落した。	30309	1	1～9
2007	11	11 ～ 12	自社新潟店に出張し、2階事務室で打ち合わせするため2階へ通ずる階段を上っていたところ階段から転落した。	170209	1	30～ 49
2007	10	～ 14	事務所及び資材置き場として使用されていた建物の解体作業中、RC造の本体部分の解体が終了し、残った鉄製の外部階段（高さ約5 m）を中間部分で溶断したところ、階段の中間より下の部分が崩れ、更にも上の部分が崩れ、作業者が下敷きになった。階段の中間より下の部分には地中に基礎は無く、地面に置かれただけの状況だった。	30201	5	10～ 29
2007	12	16 ～ 17	当日の作業終了後、タイムカードを押すために、1階調理場から出て屋外階段より2階の事務所へ行く途中、階段を踏み外し、踊り場に倒れた。	80209	1	10～ 29
2007	4	11 ～	取引先で打ち合わせ終了後、階段を下りている途中で転落し（およそ	80109	1	1～9

		12	10段) た。			
2007	3	1 ～ 2	印刷業務準備係の班長として夜勤業務に就いていた被災者が、休憩時間中に構内の階段中ほどでうつ伏せに倒れているのを同僚が発見した。	10701	2	30～ 49
2007	4	20 ～ 21	被災者は社長室で会長と業務の打ち合わせを終えた後、当該事業場の裏口ドアから出て外階段を上がり2階の踊り場にある喫煙場所で喫煙していた。10分後に外で「ドドン」と音がしたため1階の裏口ドア付近にいた会長がドアを開けたところ被災者が倒れていた。	10701	1	30～ 49
2007	3	15 ～ 16	被災者は、密閉型引込ヒューズ・取替工事に伴い、アーケード上の電線のヒューズ状況等の確認のため、アーケードに既設された昇降はしごを登っている際に、手をかけたはしご最上部の溶接箇所が劣化していたため、はしご上部が折損し、当該折損部分とともに約8.9m下の道路に墜落した。	30301	1	1～9
2007	10	12 ～ 13	業務終了後、被災者は帰宅するため地下1階にある店舗出入り口から階段を上って1階外に出ようとした際、階段下から2、3段目より足を踏み外して仰向けに倒れた。	140201	1	10～ 29
2007	6	14 ～ 15	倉庫外装工事のための足場(単管抱足場)組立作業中、被災者は一段目の布(高さ約2.3m)で2段目の布取り付けのためのクランプを取り付けた後、部材を取りに降りようとした際にはしごから墜落した。	30209	1	1～9
2007	4	14 ～ 15	塔屋屋上の防水工事中、被災者は空の一斗缶2つを左手に持って、塔屋に設けられているタラップ(全長4.8m)を降りる途中、高さ1.82mの地点からバランスを崩しビル屋上へ墜落した。	30203	1	10～ 29
2007	3	20 ～ 21	事務室を出てトイレに行くために階段を下りたところ7階から6階の間の踊り場に転落した。	170209	1	10～ 29
		9	携帯電話の無線基地局鉄塔のカラスの巣撤去作業にあたり、作業者3			

2007	8	～	名で作業中、はしご道上で作業をしていた被災者が高さ約9.3mのはしご道から地上に墜落した。	30301	1	1～9
2006	4	14～15	事業場ビル1階から、仕事で地下街へ行く為、外階段を降りる際、突風に煽られ階段下に転落した。	170209	1	1000～9999
2006	11	15～16	被災者は、休憩時間にビル2階の作業場からビル1階に降りて行く途中に階段を踏み外し、転倒した。	10502	1	10～29
2006	9	7～8	事業場へ出勤し、2階のロッカー室で仕事着に着替え、1階事務所に置いてあるタイムカードに出勤時間を記録するため、2階から1階へ通じる高さ4.5mの階段を降りようとしたところ、階段を踏み外し、1階床面まで転落し、強打した。	140309	1	100～299
2006	9	12～13	被災者は、公衆トイレの外階段において転倒しその後、倒れているのをトイレ利用者に発見された。	150101	2	10～29
2006	7	8～9	被災者は、タイムカードを打刻後、別棟にある作業場所に向かうため、2階から1階に階段を降りていく途中、1階から1箇所目の踊場で転倒して、重傷を負い、後日死亡した。	170209	2	100～299
2006	7	16～17	工場のベルトコンベヤーラインで選別作業中、同僚が被災者のいないのに気づき、階段下を見たところ、倒れている被災者を発見した。	150102	1	10～29
2006	7	0～1	被災者は在庫を確認するために2階休憩室を出て、事務所へ戻る途中、階段より転落し病院で治療していたが、死亡した。	11209	1	100～299
2006	5	14～15	2階の休憩室で昼食をとり、休憩室を片付け事務所に行こうと階段を降りる途中で転落した。	80204	1	1～9

2006	6	4 ～ 5	真空洗浄機のフィルターを清掃するため、2. 1 m下のピットに垂直はしごを下りていたところ転落した。フィルター清掃を行った後、休憩室の椅子に座っていたが、床に倒れたため救急車で病院に搬送したが、死亡した。	11209	1	30～ 49
2006	2	8 ～ 9	工場に隣接した宿舎に住み込んで働いていた被災者が、精米機の調子を点検するために宿舎の階段を下りる際、転落した。同僚が出社した時階段下で倒れているのが発見された。	10105	1	50～ 99
2006	4	15 ～ 16	車両基地（建設中）において、電力ケーブル敷設の補助作業に従事していた被災者が、敷設作業箇所を移動中に車線横断用の地下通路階に降りる段の頂部から16段（高さ3. 3メートル）下の横断通路面まで転落した。	30301	1	1～9
2006	3	9 ～ 10	現場においてタグボートから修繕船（本船）へ乗り移るため縄はしごを上っていたところ、誤って5メートル下のタグボート上へ転落した。	11501	1	100 ～ 299
2006	1	16 ～ 17	事業場内の階段付近を歩行していたところ、階段を転落した。	130201	1	10～ 29
2006	2	16 ～ 17	被災者は一輪車に生コンを入れた状態で、後ろ向きに階段を下りていたところ、階段踊場付近から、下まで墜落した。	30309	1	10～ 29
2006	2	7 ～ 8	出勤後、事務所棟2階で作業服に着替え、1階職場へ移動中、階段から転落した。	11209	1	10～ 29
2005	8	14 ～ 15	建物天井部分のはつり作業後、作業用具片付けのために階段を下りていたところ意識を失い、階段から踊り場に転落した。	160101	1	100 ～ 299
		11	地下鉄の売店に配達のため、出入口へ続く階段を下りようとした際、			50～

2005	10	～ 12	転倒した。	80409	2	99
2005	2	～ 19	ビルの非常階段の踊り場から転落した。	80209	1	1～9
2005	6	～ 16	住宅の屋根葺替え工事現場において、作業終了後、被災者がはしごから下りようとした際に、当該はしごが滑動し、はしごとともに1階屋根部分から転落した。	30202	1	1～9
2005	5	～ 18	ビル非常階段より、転落した。	80109	1	100 ～ 299
2005	11	～ 5	業務を終え帰宅するため、事業場2階の事務所から1階出入口へ通じる屋内階段を下りたところ転落した。	170209	1	50～ 99
2005	5	～ 21	警備のため施設を巡回中、建屋の1階から地下1階へ下りる階段の踊り場で転倒した。	150101	1	300 ～ 499
2005	8	～ 9	被災者はタイムカード打刻と着替えのために、建物内の階段を1階から2階に上っていく途中で後ろ向きに倒れ、1階と2階の間にある踊り場から転落した。	80109	1	100 ～ 299
2005	1	～ 15	郵便物を持って階段を下りようとしたところ、階段の上部でバランスを崩し、最下段まで転落した。	110101	1	100 ～ 299
2005	4	～ 9	2階建て木造住宅解体工事現場において、2階に上がり、外壁材の解体作業に取りかかって間もなく、階段を背面から転げ落ちた。	30202	1	10～ 29
			階段取付作業中、階段の仮溶接が終了したので、被災者は階段をつつ			

2004	3	9 ～ 10	ていたワイヤーを外そうと仮付けしたばかりの階段に載りワイヤーを外したところ、クレーン2基で階段をつっていたのでワイヤーを外したことにより一方のクレーンに階段が引っ張られて跳ね上がり、その弾みで階段から墜落した。	30209	1	10～ 29
2004	3	10 ～ 11	工場新築工事現場において、3階での作業を終えて階段を下りていたところ、つまずいて2階床面まで墜落した。	30201	1	1～9
2004	4	19 ～ 20	会議終了後、2階会議室から1階の事務所へ移動するために階段を降りる際に、階段より転落した。	11209	1	30～ 49
2004	11	8 ～ 9	事務所の階段を2階から3階に上る途中、足を踏みはずし転落した。	170209	1	10～ 29
2004	6	14 ～ 15	木造住宅建築現場において、軀（く）体の外部階段を移動式クレーンを使用して取り付ける作業に従事していた被災者が仮止めした外部階段に上って作業していたところ、墜落した。	30202	1	1～9
2004	12	14 ～ 15	深さ26mの深礎坑内において、底盤から高さ約7.5mのタラップ上で半月板の撤去作業を行っていたところ、タラップから墜落した。	30106	1	10～ 29
2004	9	23 ～ 24	事務所の段差がある通路で転倒した。	30203	2	1～9
2004	12	7 ～ 8	出勤のためオフィス棟の地下2階から地下3階に階段を降りる際、足を踏み外し踊り場へ転落した。	150102	1	10～ 29
2004	4	16 ～	ハードディスクを製造するクリーンルーム内で、メンテナンスの作業に従事していたが、作業を中断し屋外の休憩場所で休憩するため、ク	11403	1	50～ 99

		17	リーナルーム内の階段を下りたとき、足を踏み外して転落した。			
2004	4	9 ～ 10	引越積込み先のマンションで荷物の運び出しの準備中、階段で転落した。	40301	1	10～ 29
2003	11	7 ～ 8	新聞配達でマンションの2Fから3Fの階段を上る途中、足を滑らせて転倒し額を打った。	80205	2	10～ 29
2003	9	0 ～ 1	玉子のケースを地下街にある得意先へ配達のため歩行中、階段の上から3段目で足を滑らして約24段下まで転落した。	80109	1	1～9
2003	8	1 ～ 2	帰宅する前に飲食店のごみを出すため、ごみ袋を持ってビルの共有部分である階段を下りているとき酔っていてころび、転落した。	140209	1	1～9
2003	8	16 ～ 17	溶接個所の横に設けられた階段上で溶接作業中に、高さ6.4mのところから墜落した。	30309	1	1～9
2003	7	14 ～ 15	顧客を訪問したが不在のため帰る途中に、4階階段から転落し3階踊場で頭部を強打した。	80209	1	30～ 49
2003	6	9 ～ 10	移動式クレーンを用いて6階部分の大梁上に鉄骨柱（300mm×300mm×12mm、長さ2.9m）を組付けし、柱最上部の玉掛け用具（鉄骨クランプ）を取り外すため、昇降用金具であるタラップを昇っていたときに、5段目（最上段）の仮付けされていた受け金具がタラップごと剥がれ、約17m下の地上に墜落した。	30201	1	10～ 29
2003	5	19 ～ 20	蒸留塔の改造工事で、当日の作業が終ったので打合せのため塔のマンホール（地上47m）からプラットホームに出て本設のはしご道を降りて事務所にもどる途中に、地上20mのところにあるプラットホーム上	30309	1	10～ 29

			に墜落した。			
2003	5	13 ～ 14	病院の職員寮において、電話料金を支払いに行こうとして階段から転落した。	130101	1	300 ～ 499
2003	5	8 ～ 9	地下鉄駅構内において、清掃作業に従事していた者が階段の踊り場に倒れていたところを通行人に発見された。	150101	1	30～ 49
2003	2	8 ～ 9	飼料タンクにバルク車から飼料を入れる作業を行うため、タンク建屋のはしごを上っている途中に足を踏み外して墜落した。	40301	1	10～ 29
2003	2	0 ～ 1	軽量鉄骨2階建住宅の新築工事において、建物の検査を行っていた作業者が、1階から2階に通じる移動式階段前の1階床上に倒れているのを発見された。（外傷性くも膜下出血）	30309	1	1～9
2003	2	11 ～ 12	アパートの引越し作業で、2階から荷物を降ろすため階段を降りていて、1階と2階間の踊り場に転落した。	40309	1	30～ 49
2002	7	11 ～ 12	住み込みのマンション管理人がマンションの内部階段からおよそ1m下の床に転落して頭部を強打した。	170209	1	1～9
2002	8	8 ～ 9	朝出勤して建物3階にある事務所に上がる途中、2階踊り場から12段目あたりから踊り場まで転落した。	90101	1	100 ～ 299
2002	11	10 ～ 11	邸宅の改修工事において、高さ約6mの2階屋根上で銅板の取り替え作業を行っていて、休憩を取るため垂直梯子で降りようとしたときに最上段から墜落した。	30201	1	1～9
2002	10	6 ～	デパートの社員食堂の調理人が、タイムカードを打刻するため地下1階の指定場所へ向かっていたときに、階段の手すりの隙間から転落	140201	1	100 ～

		7	した。			299
2002	8	13 ～ 14	倉庫屋外点検用階段を昇降しているときに、階段を踏み外して上から3段目の踊り場まで転落した。	11001	1	1000 ～ 9999
2002	8	8 ～ 9	ドック内に入渠している貨物船のチェンロッカーを清掃するため、仮設の乗船タラップを通過して船のデッキ上にあるタラップを降りようとしたときに、船首側の手すりの間から16.5m下のドック底に墜落した。	150109	1	10～ 29
2002	1	14 ～ 15	病棟2階にある看護詰所より1階の便所へ向かうため階段を下りているときに、1階床まで3段目の箇所から転落し左側頭部を強打した。	130101	1	100 ～ 299
2002	2	11 ～ 12	事務所兼倉庫において、電気工事配線資材を2階から1階に降ろしているときに、階段3段目（約60cm）付近から転倒し脂肪血栓症により死亡した。	30301	1	1～9
2002	2	15 ～ 16	寺の建設工事（SRC1階建て、最高高さ55m、軒の高さ32m）において、天井先端化粧パイプ養生材の撤去を行うため足場の昇降設備を降りていたときに、枠組み足場の交差筋交いの隙間（高さ15.6m）から墜落した。	30209	1	1～9
2002	1	16 ～ 17	会社の所定休日で機械が停止している間を利用して7名で工場内の機械設備の点検作業中、サイロの間にある螺旋階段の手すりの間（高さ80cm、中さん無し）から約20m下の地面に墜落した。	10109	1	100 ～ 299
2001	12	18 ～ 19	当日の作業を終えて、帰宅のため事務所内の階段を走行中に転落した。	10102	1	30～ 49
2001	12	14 ～ 15	得意先の事務所内において、3Fから4Fへ上がる階段で踊り場(高さ約70cm)に頭から落下した。	170209	1	1～9
		13	3階電気室の点検が終了し次の場所へ向かうため階段を降りている最中			100

2001	12	～ 14	に転倒した。	10102	1	～ 299
2001	12	2 ～ 3	醗酵室で麴を混ぜる作業に従事する者が来ないので敷地内にある住込み部屋(木造2階建倉庫の2階)に様子を見に行ったところ、自室から外部に通じる階段下の土間で意識不明の状態で見つかったのを発見した。	10105	1	10～ 29
2001	6	14 ～ 15	営業所内の階段をモップを用いて清掃していたときに、モップが階段に引っかかった反動で階段の上段から転落した。	40201	1	50～ 99
2001	4	7 ～ 8	事務所の階段を上がっていたとき階段から足を踏み外し、1. 17m下の一階フロアに仰向けで転落した。	170209	1	1～9
2001	4	14 ～ 15	解体工事においてドラグショベルで土倉を解体作業中、ドラグショベルの傍で作業を指示していて高さ約1. 1mのコンクリートで造られたスロープ上で転倒し頭部を強打した。	30199	2	1～9
2001	6	14 ～ 15	屋外階段取替工事において、2階ベランダから作業のため設けられた足場に移ろうとしたときに、ベランダの手すりに掛けた左足がすべり約6. 5m下の道路に墜落した。	30203	1	1～9
2001	5	21 ～ 22	ビルの清掃作業を終了し、3階にある更衣室から従業員専用の階段を降りていたときに、3階への階段の途中から2階踊り場に転落した。	150101	1	100 ～ 299
2001	6	23 ～ 24	工場内を歩いているのを他の労働者に目撃されていたが、その後、工場の非常階段脇で転落して地上で倒れているのを発見された。	11509	1	100 ～ 299
2000	2	0 ～ 1	社内の研修会終了後、ビルの階段を2階から降りる途中でつまずいて踊り場まで転落し後頭部等を強打した。	90103	1	10～ 29
		2	リハビリセンター内の警備巡回中に、階段から足を踏み外し転落し			50～

2000	4	～ 3	た。	170201	1	99
2000	2	13 ～ 14	工場2階の食堂から1階作業場に降る階段の直下で倒れていて脳挫傷により死亡した。	10104	1	10～ 29
2000	11	11 ～ 12	工場2階休憩室のストーブにポリタンクから灯油を給油し、ポリタンクを1Fの保管場所へ返そうと階段を降りているときにつまずいて転落した。	11209	1	1～9
2000	11	10 ～ 11	マンション屋上の床面をホースで散水清掃作業中に、ホースに足を取られ転倒し階段から墜落した。	150101	1	100 ～ 299
2000	8	8 ～ 9	3階の階段をモップで清掃しているときに、踊り場の3～4段目の手前から踊り場に仰向けに落ち、頭を強打した。	150101	1	50～ 99
2000	3	14 ～ 15	外部鉄骨階段の塗装に使用した仮設足場の解体後、塗装されていなかった足場の控えを取り付けたクランプの痕を塗装するため、7階鉄骨階段踊場の(高さ110cm)手すりに上るとして、約25m下のコンクリート面に墜落した。	30209	1	10～ 29
2000	8	10 ～ 11	個人住宅の屋根瓦の補修作業で、玄関の下屋根から休憩のため梯子に乗り移ろうとして、梯子から2.9メートル下のコンクリート面に墜落した。	30209	1	10～ 29
2000	1	11 ～ 12	パチンコ店の解体作業において、鉄骨外部階段と建物をつないでいる2階床のH型鋼を外部階段の踊り場からガス溶断したところ、階段側の支えがなくなったため階段が傾き、階段は片側だけの手すりであったため高さ3.79mの踊り場から墜落した。	30201	1	10～ 29
2000	10	～	15 駅の袴線橋新設工事で、深さ11.2mの立坑内の溶接作業を終えて昇降設備(背もたれ付タラップ)を昇っていたときに、誤ってコンクリート地	30102	1	10～ 29

		16	盤に墜落した。			
1999	3	17 ～ 18	お土産としてもらった和菓子の入ったケースを持って2階事務所への階段を昇っていたところ、階段の上から2～3段目のところから墜落した。	40301	1	50～ 99
1999	3	7 ～ 8	就業場所である工場2階に向かうときに、2cmの積雪のため屋外階段からコンクリート上に転落した。	11709	1	100 ～ 299
1999	12	17 ～ 18	4名で波害から守るため5隻の小型ボートを人力で栈橋へ上げたのち、栈橋上に一人残って波、ボートの状況を見るため栈橋上を歩行中、あやまって湖(約2m)に転落して溺死した。	140101	10	100 ～ 299
1999	12	17 ～ 18	個人住宅のボイラー取り付け工事を同僚と2人で行い事務所で休憩したのち、帰宅するため事務所(2階)から階段(高さ1.4m)を降りていく途中で転倒し、敷地内の道路上に転落した。	30110	1	1～9
1999	12	11 ～ 12	書類送達のため2階事務室から1階へ行くため階段を降りていたところ、バランスをくずして踊場に墜落した。	120109	1	1～9
1999	12	9 ～ 10	フェリー乗降用可動橋の解体撤去工事において、歩道伸縮を制御する油圧シリンダーをガス溶断したところ歩道部分が滑り出して歩道橋の下部H鋼と歩道橋のアンクルとの間にはさまれた。	30209	7	1～9
1999	11	10 ～ 11	砂防ダム工事現場において、用地境界杭(重さ約35kg)を設置するため、砂防ダムの堤体上をかついで対岸から対岸へ運搬していたときに天端上に設置された枠組足場用階段からバランスを崩し、約5m下のコンクリート上に転落した。	30108	1	10～ 29
1999	10	15 ～ 16	外部足場の昇降階段をあがっているときに、墜落した。	30201	1	1～9
		11	施設内を巡回にでた警備員がなかなか戻ってこないで同僚が探しに			100

1999	9	～	出かけたところ、地下1階の階段室扉の前でうずくまっている被災者を	170201	1	～
		12	発見し、声をかけたとたんあおむけに倒れた。			299
1999	8	11	泥土圧シールド工法による発進立抗(深さ約13m)の工事中、一旦休憩の	30102	1	10～
		～	ため地上に上がったが忘れ物をしたため、一人で取りに戻った者がな			29
		12	かなか戻って来ないので同僚が見に行ったところ立抗下で倒れてい			
			た。			
1999	8	10	船倉タンクの補強工事を行なっている貨物船の船倉タンクでの工事の	11501	1	100
		～	進捗状況を確認後、螺旋階段(もしくはタラップ)を降りているときに船			～
		11	倉底部に墜落した。			299
1999	7	9	事務所において、るエレベーターを使用せずに階段を昇っていて、5F	170209	1	30～
		～	から4Fに差しかけたときに階段で転倒し、頭部を打った。			49
		10				
1999	3	7	新聞配達中、早朝の冷え込みと降雪により凍結していた階段で滑って	80205	1	30～
		～	転落し、踊場で倒れているところを発見された。			49
		8				
1999	6	14	病院の2階食堂で昼食をとったのち、食器を1階の洗い場に運ぶため階	130101	1	50～
		～	段を降りていたときに転落した。			99
		15				
1999	1	15	書類を届けて、帰社途中の地下鉄駅で、電車が来たので乗ろうとして	80409	1	10～
		～	階段から足を踏み外して頭から前に倒れ落ち、頭部を強打した。			29
		16				
1999	1	5	タイムカードを打刻しトラックの検査書とキーをロッカーから持ち出	40301	1	30～
		～	して、運転予定のトラックへ向かう途中、事務所の階段の踊り場と1階			49
		6	の間から1階床面まで転落した。			

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to https://www.jisha.or.jp/international/topics/202210_29.html